|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 科　目 | | 情報Ⅰ | | 学年・類型 | | | ２年　普通科 | | 単位数 | ２ |
| 教 科 書 | | | 実況出版「高校情報Ⅰ Python」 | | | | | | | |
| 副教材等 | | | なし | | | | | | | |
| 学 習  目 標 | | １　情報化の進展する社会の特質と、そのような社会と人間の関わりについて理解します。  ２　情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識・技能を身に付けます。  ３　問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用する態度を養います。 | | | | | | | | |
| 観点別  評価規準 | | 知識・技能 | | | | 思考・判断・表現 | | 主体的に学習に取り組む態度 | | |
| 情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、技能を身に付けているとともに、情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。 | | | | 事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。 | | 情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。 | | |
| 評 価  方 法 | | 各学期末は観点別評価と評点で、学年末は観点別評価と評点及び５段階評価で評価します。観点別評価はＡ・Ｂ・Ｃの３段階で総合的に評価します。「知識・技能」は定期考査、小テスト、実技課題など、「思考・判断・表現」は定期考査・小テスト・発表内容など、「主体的に学習に取り組む態度」は実技課題や授業態度などを基に評価します。 | | | | | | | | |
|  | 単　　元 | | | | 主　な　学　習　活　動 | | | | | |
| 一　学　期 | ・情報社会  ・情報デザイン  ・デジタル | | | | ・情報の特性について学びます。  ・問題解決の手順や手法を学びます。  ・情報セキュリティについて学びます。  ・個人情報の利用について学びます。  ・著作物と権利について学びます。  ・コミュニケーションの形態やメディアリテラシーを学びます。  ・情報デザインの意味を学びます。  ・Webサイトの構築について学びます。  ・データの特徴について学びます。  ・２進数や加算器について学びます。  ・音や画像のデジタル化の仕組みを学びます。  ・ハードウェアとソフトウェアについて学びます。 | | | | | |
| 二　学　期 | ・ネットワーク  ・問題解決 | | | | ・LANとWAN、サーバについて学びます。  ・IPやドメインについて学びます。  ・各種プロトコルの仕組みを学びます。  ・情報システムの具体例を学びます。  ・データベースの役割を学びます。  ・フィルタリングや暗号化について学びます。  ・データの収集や整理について学びます。  ・表計算ソフトウェアを利用したデータ分析について学びます。  ・統計量とその計算方法について学びます。  ・時系列分析と回帰分析について学びます。  ・モデル化とシミュレーションについて学ぶ。 | | | | | |
| 三　学　期 | ・プログラミング | | | | ・アルゴリズムとプログラミングについて学びます。  ・プログラミングの基礎を学びます。  ・1次元配列、2次元配列の利用方法を学びます。  ・関数の仕組みと活用方法を学びます。  ・各種探索アルゴリズムを学びます。  ・各種整列アルゴリズムを学びます。  ・オープンデータの活用方法について学びます。 | | | | | |